

小1～3年生限定で開講している学習プログラム「ニワトレ」ですが、公立・私立問わず、受験で求められるレベルが以前より高くなってきているので、システムを一部リニューアルいたします。

リニューアル点はココ！

- ▶ 1～3年生限定を一部解除します。 ※裏面の「要項」もご覧ください。
- ▶ 学習時間を 16：30～19：00 へ拡張します。
- ▶ 「速読」と「時事」に関するプログラムを 毎回の授業で行います。

変わらない点はココ！

- ▶ 弱点の原因を見抜き、それを克服する最適の指導を行います。
- ▶ トレーニングを通じて学習に対する 強いメンタルを身につけます。
- ▶ 中学受験の有無にかかわらず、高いレベルの内容を指導します。

かなりハードな

…と、トレーニングのはずですが、通っているみなさんの話によると、なぜか「楽しい」みたいです💧

ホントかな？

コース ニワトレ

小1～小3の間に

四谷大塚 全国統一小学生テスト 全国偏差値60以上（2教科）のレベルを目指すトレーニングです。

算・国

これから書く内容は、ニワトレの説明と現実の教育事情です。特に後者は、教育系の雑誌・本にあるような聞こえの良いフレーズをならべてはおりません。予めご了承ください

Q 「ニワトレ」って何ですか？

A 「ニワ先生による学習トレーニング」の略です。ニワ先生のプロフィールは下記の通りです。

丹羽将司（にわまさし）名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻卒。岐阜県岐阜市出身。生粋の理系の道を行っていたが、なぜか教育の世界へ。中学・高校・大学（医歯薬）受験指導に携わった後、科学教育コンテンツの開発・FCを事業とする企業に転職。日本・海外で普及に努める日々を送る。2009年に独立し、サイキッズを開校。教室の運営と同時に、科学教育コンテンツの開発を行い、現在、日本122教室、海外5教室で展開中。

モットーは「準備をした段階で、本番は終わっている」。特技(?)は小3の時に憶えた円周率40桁が今でも暗唱できること。役に立ったことはありません...



将来の夢は「冒険家」/写真は 神戸どうぶつ王国にて

Q 「高いレベルを目指す」とありますが、やはり 東海・滝・南女を意識しているのですか？

A いいえ。まったく意識していません。私が意識しているのは全国レベル、そして海外の動向です。もし、転勤等で東海エリアから離れなければいけない状況になったとき、どこに行っても通用するレベルの力を身につけることを目的としています。したがって、東海・滝・南女は意識しておりません。なお、東海エリアであえて挙げるとすれば 名大附（名古屋大学教育学部附属中学）です。

Q 全国統一小学生テストを受けたことがありません。HPで見ると、問題は簡単そうに見えます。この程度で全国偏差値60以上は、特別な事とは思いませんか？

A 一度、受験してみたいかでしょうか？全国統一小学生テストのHPにある問題例は、受験生を獲得するための、いわゆる『釣り』として掲載されたものであり、実際の問題は、想像のはるか上をいくレベルの問題が出題されます。全国統一小学生テストを受験する小学生の属性は様々であり、全員が中学受験をめざしているわけではありませんが、少なくとも「小学校での成績が良い子どもたち」で構成されているといえるでしょう。その集団の中での偏差値60以上を目指すことは、目標として十分に価値のあることだと考えています。

Q どこかの塾と提携しているのですか？

A 提携はありませんが、相応のネットワークはあります。

裏に続く

Q OO(←教科名:[例]算数)が苦手ですがどうすれば良いでしょうか？

A 大変申し訳ございませんが、この質問に対して即答することはできません。なぜなら、苦手となっている原因が判明していないので、適切な回答ができないからです。ケースバイケースですが、私の場合、おおよそ以下の項目を保護者様・お子様からヒアリングした上で対応をしています。

- ・苦手とする教科のどの単元なのか？
 - ・何年生から苦手としているのか？
 - ・学習時間はどの程度なのか？←学校宿題の時間を除く
 - ・学習を行っている環境はどのような環境なのか？
 - ・家庭学習用の教材を使用している場合、どのような教材を使用しているのか？
 - ・学習塾に通っているかどうか？通っている場合、教えている先生の経験はどれくらいなのか？
 - ・保護者様が教えられている場合、どのような教え方をしているのか？
 - ・学校の授業は聞いているか？または、授業が成立している環境なのか？
 - ・学校の先生との相性は？
 - ・テストで何点をとってほしいのか？
 - ・苦手を克服させようとかしらの対策をとっているか？
 - ・本人の学習に対する意識は、どの程度か？
- (状況に応じて他の項目も追加されます)

苦手を克服するためには、原因を突き止める必要があります。突き止めることができない限り、克服することはできません。

Q 勉強の習慣がないのですが…(1~3年生の場合)

A 基本的に勉強が好きなお子もはいません。また、どんなに「将来のため」などと理想を語っても、社会経験のない子どもたちにとっては机上の空論であり、継続的な効果はありません。勉強の習慣を身につけるためにはプレッシャーをかけること、そして日々のチェックと指導を怠らないことが必要です。※私は「学習」と「勉強」という2つの言葉を使い分けています。この質問の場合は「勉強」です。

Q 勉強の習慣がないのですが…(4~6年生の場合)

A 1~3年生で勉強の習慣が身につけられていない場合、4年生以降で、ある日突然、自ら進んで家庭学習を始めることはないでしょう。大変残念ですが遅きに失しています。

Q 何とかすることはできませんか？

A 学習塾に行かせ、物理的に学習の時間を増やすことで学習の時間を確保しましょう。集団授業の学習塾では週2回、個別指導であれば週1回程度から…というのがスタンダードのように思えますが、その程度の時間の確保ではなんともなりません。それ以上の受講をしなければ、学力を向上させることはできません。なお、それで家庭学習の習慣が身につくかという、かなり難しいでしょう。すなわち、家では学習できないため、学力を維持するためにずっと通い続けなければなりません1~3年生でやらなかったことを4年生以降で取り戻そうとすると、相応の労力と費用がかかります。

Q 家で教えているとイライラしてしまうのですが… どうしたら良いですか？

A 保護者様が家で教えるを辞めてアウトソーシングしましょう。各学年ごとの目安を下に記します。

- ・幼児 保護者様が指導してください。←この時期は、穏やかなまなざしで見ることができると思います。
- ・小1 保護者様が指導してください。←イライラが始まります。
- ・小2 お子様によってはアウトソーシングしましょう。←あまりにもガミガミすると、話を聞かなくなってしまう。
- ・小3 お子様によってはアウトソーシングしましょう。←イライラよりも不安の方が大きくなります。
- ・小4以上 アウトソーシングしなければいけません。

保護者様がご家庭で教えるのは、感情や指導技術の観点から考えても限界があります。また、お子様も、第三者からの指導の方が素直に聴ける場合が多いと思います。

Q 時事や速読は必要ですか？1年生だとまだ早いと思うのですが…

A はい、いずれも必要です。また、「1年生だから…」ということですが、1年生でも十分始めることができると考えています。何をもってして「まだ早い」と考えるのかは人それぞれですが、教育において、早いかどうかの判断は、『学年ではなく個々の成長』に基準を置くのが原則です。例えば、先述している全国統一小学生テスト・小1国語では、30分という試験時間の中で、言葉・漢字・語彙の小問だけでなく、6Pにわたる長文読解が出題されています。裏を返せば、「小1であってもこれくらいの長文読解はできる」と捉えるべきでしょう。



(参考) 6Pにおよぶ長文。ニワトレの受講生【小1】は実際に受験し、時間内に完結しています。

「できる・できない」の判断は慎重にしなければいけません。「できない」と思いこみすぎると、子どもたちの伸びしろを小さくしてしまいます。子どもたちの可能性を信じ、伸びしろを大きくするという視点でとらえていただければ幸いです。

Q 授業(トレーニング)の雰囲気はどのような感じですか？

A 私語は一切ありません/他事・ボヘツとしているような場合、すぐに私からの指導が入ります/時間を意識させるため、問題に取り組むときはタイマーを使っています/宿題を忘れたときは、理由も含め徹底的に追求します/問題ができない事に対して、叱ることはありません/表情をよく見て、限界に近い場合はヒントを出したり、一緒に考えたりします/トレーニングスタート時には、毎回異なる最新の入試・学習に関する話をします/休憩時間の時は賑やかです。

「やるべき時には全集中！ 休憩時はのびのびと☆」が、ニワトレの雰囲気です。

学習習慣の定着と向上に必要なのは、お子様のメンターやコーチとなる第三者の存在です。ご家庭での学習に行き詰まっている方、またはこれからに向けて準備が必要だとお考えの方はご覧ください。

■ コースの目的

公立の場合、小学生の間は学習塾に通う必要はありません(中学からで十分です)。私立中受験の場合、通う必要があります。ただ、いずれの場合においても、塾に通う前にやるべきことがあります。それは、質の高い「家庭学習」です。様々なデータの調査・分析から、学力向上・学習習慣の習得には家庭学習が欠かせないことが判明していますが、実際にやろうとすると下記の項目がハードルになってきます。

- 指導するときに感情的になってしまい、やる気を減少させてしまわないかどうか。
- 「ちゃんと見る」「ちゃんとチェックする」時間を確保できるかどうか。
- 各教科の楽しさを伝えることができるかどうか。
- 各教科の指導の方法は間違っていないか。
- 学力レベル、弱点克服に合致した、適切な教材の選択ができるかどうか。
- 発達段階に応じた学習内容の提供ができるかどうか。
- 昨今の教育/受験情報を踏まえたうえで、指導方針を立てることができるかどうか。

一世代前の時代であれば家庭の中で実施が可能であったことも時代とともに変容し、現代においては相当な力をかけないとクリアすることが難しい現状があります。

今回、ご案内をする「ニワトレ」の目的は3つ。1つ目は上記項目のすべてをクリアすること。2つ目は中学生以降につながる学力・教養を育むこと。そして、3つ目は保護者様が安心してお子様を見ることができるよう、私たちがお子様のメンターやコーチになることです。

教育の世界に携わること21年。下は年少から上は浪人生、中学受験~大学受験(医歯薬)の指導だけでなく、様々な教育を実践してきましたが、こと、幼少期・児童期の学習において最も大切なものは「家庭学習」であるという結論にたどり着きました。私が培った知識や経験を実践する『ニワトレ』が、お子様のこれからの成長にお役に立ていただければ幸いです。

■ 受講にあたって

ニワトレは「わからない・難しい問題であっても、自分で考え抜く強いメンタル・自立心を身につける」という方針のもと実施しています。したがって、集団授業形式の様に、こちらから教え込むことせず、まずは徹底的に考えさせた上で、順次、ヒントや解説を行っていくスタイルです。

一方、子どもたちの学習タイプには「最初に教え込まれた方が性に合っている場合」もあります。受講開始後、そのような傾向がお子様に見られた場合、保護者様とご相談の上、受講の継続の可否を決定いたしますので、あらかじめご了承ください。

なお、学習は保護者様のご意向を反映させた指導を現実のお子様の状況と照らし合わせて行っていますが、1~3年生は「算数だけやってほしい」など、1つの教科だけの指導は承ることはできません。1教科だけの集中指導は受験直前であれば効果はありますが、学習に対する姿勢や習慣を身につけなければいけない時期での実施は適切ではないからです。もし、1教科の指導をご希望の場合、個別指導の教室にお通いいただくのを勧めます。

■ トレーニングの流れ

16:30 入室・速読(読む蔵)

- ニワトレの宿題チェックを行った後、速読トレーニング(読む蔵)を行います。
- 速読トレーニング終了後、各自、学校の宿題やニワトレの課題を進めていきます。
- 宿題チェックの際、学校の状況や学習の調子、新たに発生した苦手箇所などのヒアリングを行います。

17:00 トレーニングスタート

- 全員の速読トレーニングが終了次第、「学習に対する意識を高める話」をします。
- 実施する指導・プリント・演習内容は個々にカスタマイズされており、全員異なります。
- トレーニング中、遊んでいる・ボヘツとしているなどの生徒はいません(←私の監視が常に行き届いています)。

17:55 休憩

18:00 時事分析(読売子ども新聞)

- 「読売子ども新聞」を用いて、時事の解説を行います。
- 「読売子ども新聞」は全員にお渡しします(教材費に含まれています)。

18:15 トレーニング再開・宿題の指示

- 量より質を重視した宿題を受講生ごとに出していきます。
- 3年生以上は「時事作文」を宿題にする場合があります(次回の授業で回収し、添削をして返却します)。

19:00 トレーニング終了

- 宿題は必ずやってきてください。
- 宿題忘れや、適当にやったことは見抜きます。その場合、かなり厳しい追及があるので覚悟してください。

■16:30~17:00は、送迎にかかる時間を考慮したフレックスの時間帯になります。17:00までに教室にお越しください。

■ 要項 (2021年度)

対象	新小1~新小3 ※新小4以上で受講をご希望の方は、(備考)をご覧ください。
開講曜日	(火)または(金)
時間	16:30~18:30
授業料	4,000円(税抜)
教材費	2,500円(税抜)
設備費	1,000円
その他	ニワトレのみの受講はできません。サイキッズの他コースを受講していることが受講条件になります。

(備考) 新小4以上で受講もご希望の方へ [+1~小3限定の1課解説について](#)

新小4以上の方で受講をご希望の方は、「1教科」で承ります。なお、「作文」「語彙」「特殊算」など、教科の枠にとらわれずに行うことができますので、苦手とする単元や伸ばしていきたいスキルがありましたら、ご遠慮なくお申し出ください。ご相談の上、学習内容・方針を決定させていただきます。

※受講スタート後、取り組み内容の定着・理解が深まっていると判断される場合、受講途中における学習内容の変更は可能です。
[例] 4月…計算の工夫 → 5月…語彙 → 6月…グラフの読み取り など

■ 受講をご希望の方は、授業送迎の際に丹羽(ニワ)までお申し出ください。

※年度内から受講を始めることも可能です。なお、2020年度の受講曜日は(火)(金)ですが、開講時間は16:30~18:30になります。予めご了承ください。
※受講にあたり面談を実施させていただきます。学校のテストや通知表、家庭学習で使われているテキストなど、学習状況がわかるものをお持ちください。
※オンラインでも受講は可能です。PC環境、使用アプリ等の調整が必要になりますので、ご希望の方はお問い合わせください。

メールでの受講申込み承っております。本文に受講申込希望の旨をご入力いただき、下記メールアドレスまで、ご送信ください。

info@sai-kids.com